

江東区 昔と今

万年橋は、小名木川の隅田川口に架けられていました。

架橋年代は不明ですが、寛文11年(1671)の「新板江戸外絵図 深川・本庄・浅草」には、「本番所のはし」とみえます。小名木川に架かる橋は、船の通航を妨げないように高く架けられていましたが、万年橋も北側4間3尺、南側3間4尺の高さがあり、長さ22間、幅2間の大きさでした(『御府内備考』)。

万年橋からの富士の眺めはすばらしく、歌川広重や葛飾北斎の錦絵に描かれています。現在の橋は、震災復興橋梁の一つとして、昭和5年(1930)に架けられた鋼鉄橋で、江戸時代の木橋より20mほど東に架かっています。



名所江戸百景 深川万年橋 歌川広重 (江東区立深川図書館 所蔵)

万年橋



現在の万年橋